

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		南信濃民芸等関係施設管理運営事業		課名	美術博物館	事業No.	319
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始	H2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画			
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン			
法令・例規等			地方自治法				
			飯田市南信濃民芸等関係施設条例				
事業目的		対象	南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）				
		意図	施設の適切な維持管理と文化資源の展示及び保存を行う				

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	・南信濃地区に伝わる霜月祭をはじめ遠山郷の歴史文化等を展示紹介しました。 ・指定管理者による管理運営を行いました。			保険料(建物共済)				23			
				施設管理運営業務委託料				2,344			
				借地料				435			
その他の経費				0							
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	展示月数		月	12	12	12	12	12	12		
	観覧者数		人	3,800	1,458	3,800	1,349	1,400	1,210		
1年度決算(千円)	予算額		2,804	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		2,802								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		2,802									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	6	14	1	2,804	2,802	南信濃民芸等関係施設費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・入館者数が減少傾向にあります。 ・30年を経過する施設のため、老朽化による修繕等の対応が増えていきます。 ・年度末で施設の指定管理が終了し直営の管理となります。								
上記の課題解決のための有効策		・遠山地区の他の施設の運営と連携した取り組みが必要です。 ・施設の有効利用や霜月祭の後継者育成につながる取り組みが必要です。 ・地域との協働による施設運営を図るとともに、地域内での指定管理に向け協議が必要です。								
次年度に向けての取り組み		・直営施設として運営を行います。 ・学芸員による地域関連の講座の開催や霜月祭の後継者育成を支援します。 ・施設の有効利用に向け、地域や関係団体と協議を行います。								